

山行報告書

報告書作成

2012年8月22日

山名 [山域]	雲ノ平・高天原	目的と方法	北アルプス最深部を巡る
登山期間	2012/8/11(土)－14(火)	山行形態	テント泊3泊4日
参加人数	2人		

行動記録

◆8月10日(金)

K宅(0:00,21:55)=0:05=岡崎IC(22:00)=2:45=高山IC(0:45)=0:15=サークルK飛騨丹生川店(1:00,1:15)=0:45=新穂高登山者用PKG(2:00)

◆8月11日(土) 曇り時々雨

新穂高登山者用PKG(6:10)→1:05→わさび平小屋(7:15,7:25)→1:40→イタドリが原(9:05,9:15)→1:20→鏡平(10:35,10:50)→2:15→双六小屋(13:05,13:15)→2:25→三侯山荘テント場(TS1)(15:40)

◆8月12日(日) 晴れ

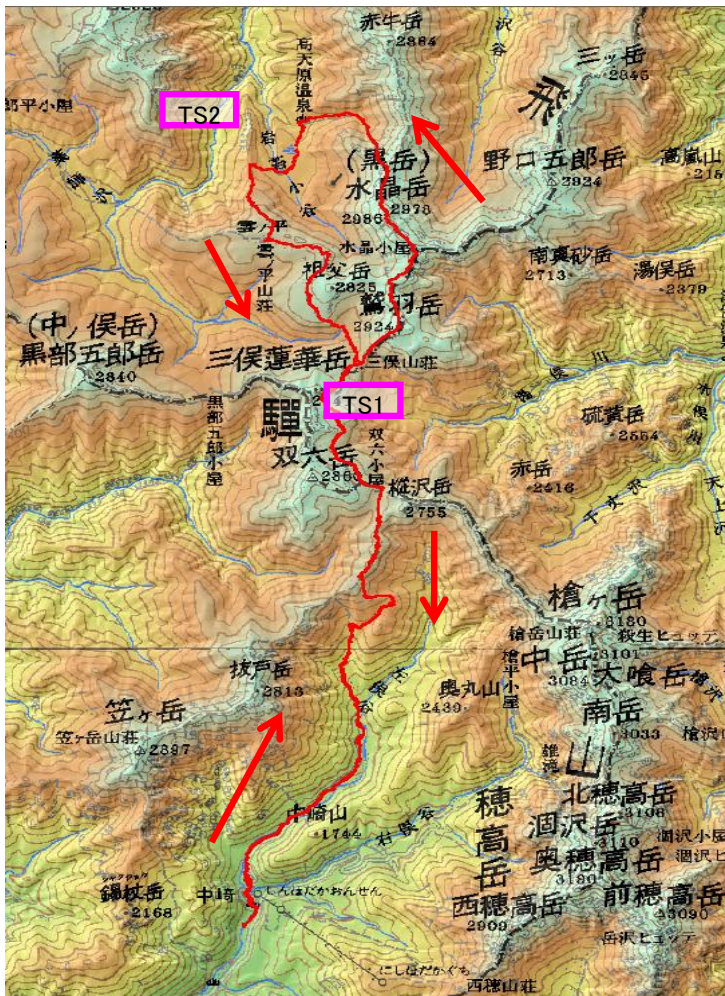
三侯山荘テント場(TS1)(2545m/5:00,7:45)→1:20→鷲羽岳(2924m/9:05,9:25)→2:35→水晶岳(2977m/12:00,12:10)→0:46→温泉沢の頭分岐(12:56,13:05)→2:25→高天原山荘(TS2)(2125m/15:30)

◆8月13日(月) 雨

高天原山荘(TS2)(2125m/4:30,6:00)→1:00→高天原峠(7:00)→2:00→雲ノ平山荘(2545m/9:00,10:00)→2:00→黒部川源流(12:00)→1:00→三侯山荘テント場(TS1)(2545m/13:00)

◆8月14日(火) 雨のち曇り

三侯山荘テント場(TS1)(2545m/4:30,7:00)→2:00→双六小屋(2550m/9:00)→2:10→鏡平山荘(2280m/11:10,11:30)→1:25→秩父沢(12:55,13:05)→0:39→小池新道終点(13:44)→1:16→新穂高登山者用PKG(15:00,15:20)=0:40→ひがくの湯(16:00,16:55)=1:05→高山らーめん[板倉製麺](18:00,18:30)=0:35→高山IC(19:05)=2:50→岡崎IC(21:55)=0:05→K宅(22:00)



8/10(金)

前夜発で新穂高登山者用駐車場(無料)へ行き車中泊。のこり数台は止めれる様子。

8/11(土)曇り時々小雨

山を見上げるとガスがかかっている。小池新道まで長い林道が続く。笠新道への登山口を通り過ぎ、小池新道へ入る。秩父沢の辺りには雪渓が残っているため登りの暑さにありがたい。シシウドが原を過ぎたところで、下山中のMさんに遭遇。山の中で知ってる方に会うとうれしさ倍増。鏡池到着も曇りのため槍・穂高はうつら。弓折乗越まで続く道はお花が綺麗に咲いている。双六小屋に到着し、明日の天候も踏まえ、三侯のテノ場まで向かう。巻き道ではあるが移動距離が長く少々アップダウンでペースが落ちやすい。テノ場に無事到着。鷲羽岳山頂は見えずともりっぱな山容は分かる。気象通報を確認し、2日目に天候が荒れる可能性が低いことが分かり、明日以降の天候に期待して就寝。

8/12(日)晴れ

起きてみたら、予想以上の好天。テノ場から槍も望める。それならとのことで、高天原温泉まで目指して進むことに。鷲羽岳～わりも岳～水晶岳気持ちいい稜線歩き。天候も崩れることなく、穏やかな天候。周囲の山々を望みながら山奥にいることを強く実感。温泉沢の頭から高天原までは標高差800m程の骨の折れる下山が続く。赤牛岳の展望は素晴らしい。温泉沢の沢沿い歩きは何度か川を渡るが増水していないため安全に渡る。高天原では憧れのお風呂、貸し切りで満足☆極楽極楽☆

8/13(月)雨

前日の気象通報では低気圧が消滅したことが分かったのでそう荒れた天気になるとは思わなかったが、小屋を出る頃には雨が降り出し、雲ノ平では風も強くなっていた。山荘で少し休憩をとった後、祖父岳の巻き道より三侯のテノ場まで急ぎ戻る。なんと!!テントがひっくり返っている!違う場所に張り替えて事なきを得る。幸い何も飛ばされてはいなかったが、いろんなものが濡れたため暖をとる。ふう…。

8月14日(火)曇り

新穂高まで下山。下山後は、登山者駐車場で案内のあったひがくの湯へ。登山者割引ー100円。うまい棒3本とジュース1本が付いて得した気分。

もともと天候があまり期待できない日程だったので、2日目に予想外の好天で稜線歩きが十分に満喫でき、そして憧れの高天原温泉も楽しめました。楽園のような雲ノ平はまたの機会にお楽しみします。新穂高温泉から三侯のテノ場まではなかなかの長丁場でしたが、無事歩くことができた自分に少し自信がつけました。